

お母さんの アンテナ

～ひとつの保養を通して～

今回は伊達市のお母さんからです。

保養は、放射能汚染から離れて、デトックスをするという目的もありますが、その他にも大切なことがあります。同じ思いの人と繋がるということです。

あるお母さんから、「今までは保養先の方々に頼ってばかりいたけれど、今後この保養活動が長く続くように、自分たちも何か出来ることをしていきたい」という言葉を聞いたときに次に何をすればいいのか見えてきたような気がします。

福島に暮らす子どもたちの環境は5年目に入った今でも、安心できるものではないと感じます。

学校では先生方が努力されて測定や学校生活の配慮はされているようですが、どうしても現実とのズレがあるようです。

6月下旬、福島市内で「福島の親子とともに・平塚」主催の福島茶話会がありました。この会に布施院長も参加し、健康相談などを行いました。

重要なのは学校と家庭との協力です。オープンな体制を作っていく、もっと偏りのない放射能の話をする場を作るといったことが今後絶対に必要だと思いました。

私が今、思うことは、放射能を「気にしている」「気にしていない」という単純なことではなく、「気にしている」ことの中身、「気にしていない」ことの中身をもっと出し合い、自分の生活している場所で理解を深めていくということ、面倒がらずに、子どもたちに説明できるようやっていきたいと思いました。

私たち家族も夏休みに保養へ行きます♪



ココろ食のぐるりカラダ

3.8報告集の感想

福島市・男性

「3・8被曝 医療 福島シンポジウム」報告集をいっきに読んでモヤモヤがすっかりした。

最近ちょっと売れてる『放射線被曝の理科・社会』（かもがわ出版・清水修二ほか著）という、「上から目線」の気持ちが悪い本がある。「科学者」が、「福島の放射線は安全だ、帰ってこい」と本気で言う。「自分たちは原発反対の学者だ、その自分たちが言ってるんだから大丈夫だ」と。3・8シンポジウムの医師たちは、汚染地域から避難させない国を、社会のあり方をみんなで変えようと呼びかける。「ありあいをつける」のではなく、「おかしい」という自分の感覚を信じていいんだと思わせてくれる。福島の今を生きていくのに大事なことだ。

お知らせ

福島原発で事故収束作業をしている労働者の生の声です。

「原発労働者は訴える」
400円
当診療所で販売しています。



発行：国鉄水戸動力車労働組合

ふくしま共同診療所 Newsletter

第10号 季刊-夏・秋号-

診療時間：9：30-12：30/14：30-18：00

	土	日	月	火	水	木	金
午前	●	●	●	●	-	●	●
午後	●	●	-	●	-	●	●

診療科目：内科/放射線科/循環器科/リウマチ科

〒960-8068
福島市太田町20-7 佐周ビル 1階
TEL:024-573-9335 FAX:024-573-9380

ここから通信

厚生労働省の研究チームが「被ばく者手帳」の発行を提言

厚生労働省は、「福島県内での甲状腺がんの増加が社会的にも注目されていることを踏まえ、食品などを介した内部被ばくも関連する可能性のある甲状腺がんの発生に関する詳細な疫学的検討を行った。」として、今年3月の検討会の報告を、6月に公開しました。厚生労働省のホームページで見ることができます。

その報告書の結論では、次のような踏み込んだ提言をしています。

- 甲状腺がんの発生動向の解釈については、まだ事故の影響がないとは断定できないことを丁寧に表現すべきである。事故による甲状腺がんの増加が否定できないために検査を続け、注意深く見守る必要があるということも、はっきり伝えるべきである。
- 放射線被ばくの影響を把握するためには、長期に亘り調べることが必要である。
- 福島県と周辺の県については、がん登録と県民手帳(被ばく者手帳)を組み合わせフォローアップする必要がある。

5月の県民健康調査検討委員会で、小児甲状腺がんの通常の数十倍の多発を認めたこと(2面に記事)にも示されるように、もはや原発事故の放射線による健康被害を否定することなど誰もできません。

私たちが3月8日に開催した、被曝・医療 福島シンポジウム「いま、福島で何が起きているのか？」のなかでもお伝えしたように、がんだけでなく、心臓血管系の病気や、免疫低下によるさまざまな病気になることなどが十分に考えられます。子どもだけでなく、大人も検査を受けましょう。

3.8 被曝・医療 福島シンポジウム 報告集
販売価格650円

診療所で販売しています。
郵送をご希望の場合、送料を頂きます。ご了承ください。



早期発見、早期治療が大切です。

健康を守るために大人も子どもも検診を受けましょう!

お問い合わせ、ご予約はお電話どうぞ 024-573-9335



<市民検診>

福島市の市民検診を
早めに受けましょう!

※受診期間は10/31まで
当診療所では、下記の検診も受けられます

- 肝炎ウイルス検査
- 大腸がん検診(一次)
- 肺がん検診(一次)
- 前立腺がん検診(一次)
- 骨粗しょう症検診



<甲状腺・乳腺エコー検査>

- 土曜日、日曜日にも検査できます。
- 県民健康調査では、事故当時19歳以上の方が検査対象外とされています。甲状腺エコー検査を受けて、健康を守りましょう。

検査日	土	日	月	木	金
午前 9:30-12:30	♡ ○	○	○	○	○
午後 2:30-6:00	♡ ○	○	-	-	♡ ○

○→甲状腺エコー ♡→乳腺エコー
※土曜日の乳腺エコーは女性技師が担当します